

岩倉市政 1 期 4 年間の総括

(市長公約の取組状況)

平成 22 年 4 月
苫 小 牧 市

市長公約の取組状況について 4年間の総括を公表します

私は、市長選挙に当たって、5つの基本政策を柱とする30項目にわたる公約を掲げました。この公約は、4年間の任期中に達成しなければならない市民の皆さんとの約束でありますので、市の施策として着実に取り組むとともに、市民の皆さんに各年度の取組状況をお示ししてまいりました。

このたび、任期満了を迎えるにあたって、これまでの公約の取組状況について、4年間の総括として公表いたします。

目 次

市長公約の取組状況について（総括）	P 1
進捗状況評価基準と項目評価基準	P 2

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！	
第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政改革計画を策定します	P 3
ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します	P 4
周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます	P 5
地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います	P 6
指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます	P 6
21世紀の苦小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します	P 7

2 自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！	
リサイクルの推進とごみの減量化を図ります	P 7
京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります	P 8
第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます	P 8
美々川流域の自然環境保全地域指定に向けた活動を続けていくとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます	P 9
上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します	P 9
環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます	P 10

3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苫小牧 導きます！		
苫小牧港の多様な港湾機能を高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます	P10	
交通・流通・医療・広域連携など様々な機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します	P11	
トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります	P12	
市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます	P12	
ビジット苫小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます	P13	
地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討していきます	P14	

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苫小牧 育てます！		
静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます	P15	
子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます	P16	
障害者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます	P17	
活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります	P17	
新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組みます	P18	
防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります	P19	

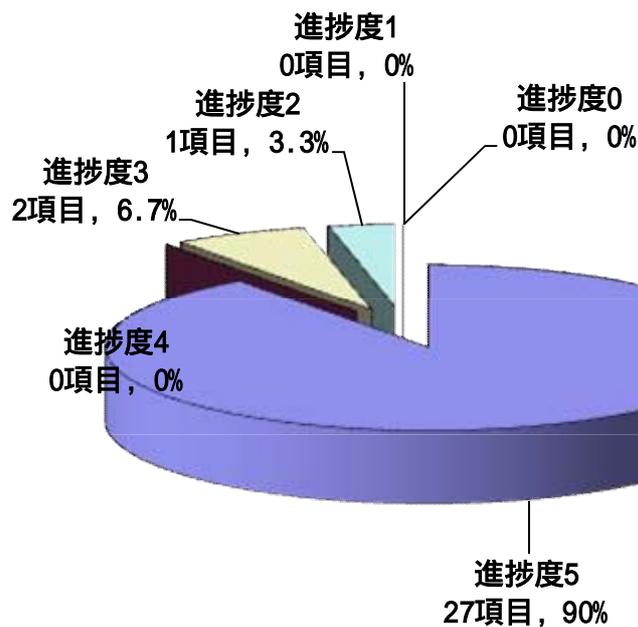
5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苫小牧 愛します！		
「氷上の甲子園」（全国高校アイスホッケー大会）を充実発展させるとともに、苫小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります	P20	
アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します	P21	
図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります	P21	
特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します	P22	
公平、平等な社会の実現のための施策を推進します	P23	
市民同士の国際交流を進め、国際都市苫小牧を育てます	P23	

市長公約の取組状況について（総括）

進捗度による公約達成率

90%（27 / 30）

進捗度	公約項目数	割合
5（100%実施済） 継続実施含む	27項目	90.0%
4（70～90%実施）	-	-
3（50～60%実施）	2項目	6.7%
2（30～40%実施）	1項目	3.3%
1（10～20%実施）	-	-
0（未実施）	-	-



「市長公約の取組状況」における進捗状況評価基準

公約取組状況の項目評価に基づいて、その進捗状況を5段階で評価する。

進捗度：5 

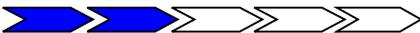
すべての項目が“ ”か“ ”

進捗度：4 

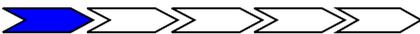
項目のうち3分の2が“ ”か“ ”、残り3分の1が“ ”

進捗度：3 

項目のうち半分が“ ”か“ ”、残り半分が“ ”

進捗度：2 

すべての項目が“ ”

進捗度：1 

いずれかの項目が“ × ”

市長公約項目評価基準

実施済（完了）～

- ・計画の策定や制度の創設がされたもの。
- ・その他公約の掲げる項目として完結したもの。

実施済（継続実施）～

- ・公約を実現するための具体的な施策に取り組んでいるもの。
- ・施策の性格上、毎年度継続した取り組みが必要なもの。

着手～

- ・検討はしているが、具体的な施策に取り組んでいないもの。

未実施～×

- ・検討していないもの。

市長公約取組状況一覧

平成22年4月1日現在

1 行革をすすめ、無駄のない効率的な都市機能をもつまち苦小牧 築きます！

第3次行革計画、財政健全化プランなどの現行計画を検証し、これからの苦小牧に必要な新たな行財政改革計画を策定します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
第3次行革計画を検証し、新たな計画を策定します			
<p>(H19~H20) 行政改革については、「第3次行政改革推進計画」に基づき、着実に実施しました。一部、進捗の遅れはあるものの概ね計画通りの実施となっており、効果額は、21年度までの5カ年で96億4千8百万円の目標値に対し、4カ年で86億8千8百万円、90%の達成率となりました。</p> <p>(H21) 第3次行政改革推進計画の未実施項目の実施に努めました。この計画による効果額は5カ年目標の96億4千8百万円に対し、96億8千百万円、達成率は100.3%となりました。また、「新行政改革推進計画策定に向けた方向性」として、策定までの期間に取り組むべき内容を定めました。</p> <p>(H22) 新計画策定に向けた方向性に沿った検討を実施し、新行政改革推進計画を策定します。</p>		ソフト	総務部行政改革推進室
財政健全化プランを検証し、新たな計画を策定します			
<p>(H19) 「新財政健全化計画」により数値目標を設定し、集中期間として取組を強化しました。</p> <p>(H20) 「新財政健全化計画(ローリング版)」に基づき、集中取組期間2年目として取組を進めました。健全化の道筋を示すために設定した3指標は、19年度決算において、目標値(経常収支比率91.0%、公債費比率19.4%、実質公債費比率17.2%)をいずれもクリア(90.7%、18.1%、12.4%)することができました。</p> <p>(H21) 20年度決算における健全化指標については、目標値(経常収支比率89.5%、公債費比率19.2%、実質公債費比率12.2%)を概ね達成(経常収支比率89.7%、公債費比率17.8%、実質公債費比率11.7%)することができました。また、22年度予算についても健全化指標を意識した予算編成を行いました。</p> <p>(H22) 補助金負担金をはじめとする事務事業について具体的な検討を行うとともに、行政改革推進計画との連携を図り、将来に向け安定的な財政基盤を確立するための新財政健全化計画の策定を行います。</p>		ソフト	財政部財政課

ごみ収集の民間委託、市営バスの民間移譲、学校給食センターの民間委託について取り組み、各種業務の委託化を推進し、民間活力を積極的に取り入れたコンパクトな行政を目指します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
ごみ収集業務の民間委託に取り組みます			
<p>ごみ収集業務を民間に委託するとともに、委託拡大について取組を進めました。 (H19) 4台分 (H20) 4台分 (H21) 2台分</p> <p>(H22) 廃プラスチック類分別収集に伴い、市内全域の燃やせるごみ・燃やせないごみの収集について全面民間委託を実施します。</p>		ソフト	総務部行政改革推進室 環境衛生部 清掃事業課
市営バスの民間移譲に取り組みます			
<p>(H19) 民間移譲を前提とした「新経営5ヵ年計画」をスタートさせました。</p> <p>(H20) 「受委託事業者選定委員会」を設置し、民間移譲に関する市の基本姿勢・基本方針について意見などをいただきました。</p> <p>(H21) まちかどミーティングなどで市民の皆さんへ説明をするとともに、9月14日に民間移譲の労使協議が整い、同9月議会で24年度からの民間移譲を前提とした2ヵ年の運行管理委託の予算が承認されました。11月に委託事業者を道南バス(株)に決定し、さらに2月に道南バス(株)と24年4月1日からの全面移譲についての協定書を締結しました。</p> <p>(H22) 移譲までの間も、これまでどおり安全・定時運行を第一に、また効率化を図りながら、今後、24年度からの全面民間移譲に向けて、委託事業者と細部にわたって協議をしていきます。</p>		ソフト	総務部行政改革推進室 交通部総務課

<p>学校給食センターの民間委託に取り組みます</p> <p>(H19) PFI可能性調査を実施し、民設民営による調理場改築を検討しましたが、経済効率性を優先させた従来方式での改築を行うことに決定しました。</p> <p>(H20) 新調理場の移転新築へ向け、設計と地質調査を行うとともに、調理業務の方式について、検討を開始しました。</p> <p>(H21) 管理運営の考え方として民間委託を推進する、「新第1学校給食共同調理場管理運営について(案)」を策定しました。(22年2月)</p> <p>(H22) 「新第1学校給食共同調理場管理運営について(案)」に対しパブリックコメントを実施し、市民意見等を踏まえ方針を決定します。</p>		ソフト	<p>総務部行政改革推進室</p> <p>学校教育部 学校給食共同調理場</p>
<p>各種業務の委託化を推進します</p> <p>高砂下水処理センターについて</p> <p>(H19) 20年度からの平日の夜間及び休日の全日における運転管理業務の民間委託に向けた取組を進めました。</p> <p>(H20) 平日の夜間及び休日における運転管理業務を民間に委託しました。</p> <p>(H21) 民間業務委託の早期拡大に向けて取組を進めた結果、22年4月から平日の昼間についても委託拡大することとしました。</p>		ソフト	<p>総務部行政改革推進室</p> <p>上下水道部 総務課</p>

周辺自治体との連携を強め、それぞれの特色を生かせる広域活性化戦略を進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19) 広域連携プロジェクトによる「フリーゲージトレイン」に関する調査・研究や、「地産地消cafe2007」を開催したほか、「オールいぶりフェア」や「東胆振地産地食フェア」などの周辺自治体と連携したイベントを開催しました。</p> <p>(H20) 周辺自治体と連携したイベントを引き続き開催したほか、12月には、新たな広域戦略として、太平洋側沿線における高速鉄道の在り方を協議し、胆振管内における経済発展に資することを目的とした、管内全自治体で構成する「いぶり次世代鉄道政策研究会」を設立しました。</p> <p>(H21) 周辺自治体と連携したイベントを引き続き開催したほか、2回目のいぶり次世代鉄道政策研究会を開催し、高速鉄道について理解を深めるとともに、胆振における広域観光についても協議しました。</p>		ソフト	<p>総合政策部 政策推進課</p>

地方分権に対応できる自治体として必要な条例・制度の整備を行います

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19)4月から「自治基本条例」を施行し、条例制定記念事業などにより、条例の啓発活動を行うとともに、市民参加フォーラムやワークショップなど、「市民参加条例（仮称）」の制定に向けた取組を進めました。</p> <p>(H20)「自治基本条例」の主要な項目の実現に向け、全庁的な取組を進めるとともに、市民自治のまちづくりを具体的な取組として実践するため、「市民参加条例」を制定しました。また、シニア世代のまちづくりに対する意向を把握するため、団塊の世代の市民1千人を対象としたアンケート調査を実施しました。</p> <p>(H21)4月に施行した「市民参加条例」の市民周知を図る事業として、市民自治に関する川柳や短歌などの募集で市民参加を体験してもらったほか、市営バスにポスターを掲載し、条例を広く市民に周知しました。また、市民参加の取組の一環である住民投票制度のあり方について、市民参加フォーラムやワークショップを通じて、広く市民から意見を収集しました。</p> <p>(H22)市民参加の裾野を広げるため、高校生を対象としたまちづくりの取り組みを行い、将来の市民参加の広がりにつなげます。住民投票制度については、21年度のフォーラム、ワークショップで寄せられた意見を土台に、さらに市民による検討を進めます。協働については、苫小牧市としての方向性を探るため、実践の積み重ねによって事例を収集します。</p>		ソフト	総合政策部 市民自治推進課

指定管理者制度を進め効率的運営と市民サービスの拡充に努めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19)20年4月から新たに5施設（高丘霊葬場、豊川コミセン、沼ノ端コミセン、住吉コミセン、のぞみコミセン）で指定管理者制度導入を決定しました。</p> <p>(H20)更新2施設（ときわスケートセンター、屋内ゲートボール場）と新規1施設（ウトナイ交流センター）において、指定管理に係る公募及び選定作業を実施しました。</p> <p>(H21)ウトナイ交流センターに指定管理者制度を導入しました。また、22年4月から新たに4施設（文化交流センター、川沿公園体育館、勤労青少年ホーム、日の出公園）の指定管理者制度導入を決定しました。</p> <p>(H22)新規施設となる「沼ノ端スポーツセンター」の指定管理者導入に向けた選定作業を行うとともに、既存直営施設の更なる指定管理者制度導入に向け、検討作業を進めます。また、22年度から適正な管理運営を目的として指定管理者モニタリング制度を導入します。</p>		ソフト	総務部行政 改革推進室

21世紀の苦小牧を描く新たな基本構想に着手し、総合計画を策定します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19) 新たな将来ビジョンと発展の方向を示し、まちづくりの基本指針となる基本構想を定め、「総合計画第5次基本計画」を策定しました。</p> <p>(H20～H21) 基本構想に掲げる「人間環境都市」の実現に向けた、まちづくりの指針となる第5次基本計画と第1期実施計画に基づき、各施策に取り組みました。</p> <p>(H22) 第5次基本計画と第1期実施計画に基づき、各施策に取り組むとともに、22年度から3年間の第2期実施計画を策定します。</p>		ソフト	総合政策部 政策推進課

2 自然を生き、環境と調和のとれた美しいまち苦小牧 守ります！

リサイクルの推進とごみの減量化を図ります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19) ノーレジ袋・マイバック持参運動の推進、廃食油資源化促進事業、ペットボトルキャップ集めなど、全53ユニットで構成する「053大作戦」をまちぐるみで展開し、ごみの減量化とリサイクルの推進を図りました。</p> <p>(H20) 「053大作戦」の考え方を継承した取組を実施するとともに、「資源回収団体奨励金制度」の新設により、集団回収活動の推進に努めるなど、ごみの減量化とリサイクルの推進を図りました。</p> <p>(H21) 環境問題にまちぐるみで取り組むことを目指して、「ecoライフ大作戦～053ステージ2～」を年間を通して実施し、「古着・古布」の拠点回収を開始したほか、環境教育の一環として、小学校向け副読本を作成し配布しました。また、22年度から始まるプラスチックの分別収集に向けて、資源物分別イメージビデオの制作やポスター・チラシの配布、住民説明会の開催など各種啓発事業を行い周知を図りました。このほか、集団回収活動への支援のほか、生ごみ堆肥化容器の助成拡大、3マイ運動等のもったいない運動など、ごみの減量とリサイクルの推進に関する事業を継続実施しました。</p> <p>(H22) 苦小牧市一般廃棄物処理基本計画に基づき、廃プラスチックの分別収集を開始して中間処理を行い資源化するほか、古着・古布の回収拠点の拡大を図るとともに、集団回収活動への支援や生ごみ堆肥化容器の購入助成など、これまで実施してきた事業を継続してごみの減量とリサイクルの推進を図ります。</p> <p>(H20～H21) 20年8月より一般廃棄物として処理されていた給食残渣を堆肥化する事業を実施しました。 (H20) 67トン (H21) 108トン (H22) 106トン(見込)</p>		ソフト	環境衛生部 減量対策課 環境衛生部 清掃事業課 学校教育部 学校給食共同調理場

京都議定書に基づく地域での推進計画を策定し、環境破壊から苦小牧を守ります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>(H19)地球温暖化対策地域推進計画の策定に向け、市内温室効果ガスの排出量調査及び市民・事業者アンケートを実施しました。</p> <p>(H20)市域全体の温室効果ガス排出量削減を目指す「地球温暖化対策地域推進計画」を策定しました。</p> <p>(H21)ecoライフ大作戦を展開する中で、地球温暖化対策地域推進計画に掲げる太陽光発電システム及びペレットストーブの導入助成や、CO2削減パンフレットの全戸配布など、地球温暖化対策を推進しました。</p> <p>(H22)環境基本計画及び地球温暖化対策地域推進計画を推進するため、太陽光発電システム及びペレットストーブの導入助成や、地球温暖化防止ポスターコンクール、エコドライブ講習会などを実施します。</p>		ソフト	環境衛生部 環境保全課

第58回全国植樹祭を成功させ、緑と花のまちづくりを進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p>			
<p>第58回全国植樹祭を成功させます</p>			
<p>(H19)6月24日に静川地区において「第58回全国植樹祭」を開催しました。</p>		ソフト	全国植樹祭 推進事務局
<p>緑と花のまちづくりを進めます</p>			
<p>(H19~21)市民参加による植樹祭や公園などの植栽・花壇造成のほか、花作り講習会・園芸コンテスト・花壇コンクールの開催を通じて、グリーンフルプラン21の普及・啓発活動を行い、緑と花のまちづくりを進めました。</p> <p>(H20)全国植樹祭会場跡地で森林づくりフォーラムを開催しました。</p>		ソフト	都市建設部 緑地公園課

美々川流域の自然環境保全地域指定に向けた活動を続けていくとともに、水質汚染や騒音への監視をしていきます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
美々川流域の自然環境保全地域指定に向けた活動を続けていきます			
(H19~21) 美々川流域の自然環境保全地域指定については、重点要望事項として、北海道などの関係機関へ要望しました。		ソフト	環境衛生部 環境生活課
水質汚染や騒音への監視をしていきます			
(H19~H21) 大気・水質・騒音などの環境監視については、常時及び定期的に測定を行いました。 (H19) 航空機騒音監視システムを更新し、監視体制の機能強化を図りました。 (H20) 大気汚染・水質測定機器の更新や移動式航空機騒音測定装置の増設を行い、監視体制を強化しました。 (H21) 大気汚染の測定を補完する温度・湿度などの気象観測機器を更新するとともに、公害防止マニュアルに基づき、発生源対策などを実施しました。 (H22) 硫黄酸化物の測定機器等更新や騒音測定車等整備を図るとともに、公害防止マニュアルに基づき、発生源対策を推進します。		ソフト	環境衛生部 環境保全課

上下水道事業の将来計画を定め、快適な都市機能を維持します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
(H19) 水道事業の目指すべき将来像を描き、その実現のための方策等を示す「水道ビジョン」を策定しました。 (H20) 将来に向けて持続可能な水道を目指し、19年度に策定した水道ビジョンに基づく水道施設の更新事業や耐震化事業などを実施しました。 (H21) 水道ビジョンに基づく浄水施設・配水管の整備事業や施設耐震化事業、水質管理事業など実施しました。 (H22) 水道ビジョンに基づく事業を引き続き実施し、将来に向けて持続可能な水道を目指します。		ソフト	上下水道部 総務課

環境にやさしいエネルギーの導入に向けて調査研究を進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>(H19) 市民団体との懇談会や庁内関係課との新エネルギー利用促進連絡会議を開催し、廃食油の再利用、バイオエタノールの製造実験、太陽光発電状況調査を行いました。また、市公用車に低公害車を1台導入しました。</p> <p>(H20) 市民団体とともに講演・実演会を開催し、新エネルギーに関する調査・研究を進めました。また、廃食油を再利用したBDF燃料をごみ収集車に利用するとともに、低公害車を1台導入しました。</p> <p>(H21) 市民団体主催の講演・実演会（第23回北海道技術・ビジネス交流会）を後援し、新エネルギーに関する研究を進めました。また、廃食油を再利用したBDF燃料をごみ収集車に利用するとともに、低公害車を利用しました。さらに、苫小牧地区協同組合等連絡協議会で、太陽光発電についての研修・講演を行いました。</p> <p>(H22) 市民団体との懇談会や講演会に参加し、新エネルギーに関する調査、研究を進めます。また、廃食油を再利用したBDF燃料車をごみ収集車に利用するとともに、低公害車を引き続き利用します。さらに、現在建築中の第1学校給食センターに太陽光発電システム8kwの設置と、エネルギーとして天然ガスを使用する予定となっています。</p>		ソフト	産業経済部 工業労政課

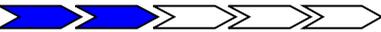
3 産業流通の活性化、働く人の明るい笑顔あふれるまち苫小牧 導きます！

苫小牧港の多様な港湾機能を高めるとともに、市民が親しめる港づくりを進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p>			
<p>苫小牧港（東港）の多様な港湾機能を高めます</p> <p>(H19) 外貿コンテナ貨物の取扱拠点の集約化を図るため、中央ふ頭多目的国際ターミナル関連施設の整備を進めるとともに、連続バースの調査に着手しました。</p> <p>(H20) 国際コンテナターミナル機能を東港区へ一括シフトするとともに、引き続き中央ふ頭多目的国際ターミナル関連施設や耐震強化岸壁の整備を進めました。</p> <p>(H21) 国際コンテナターミナル機能の強化として、連続バース化を進めるとともに、耐震強化岸壁の整備や背後ターミナル機能の整備を進めました。</p> <p>(H22) 中央ふ頭を1.5バースでの供用を開始するとともに、引き続き連続バース化を進めるほか、耐震強化岸壁や背後地ターミナル機能の整備、3基目のガントリークレーンの整備に着手するなど、国際コンテナターミナル機能の強化を進めます。</p>		ハード	産業経済部 企業立地課

苫小牧港（西港）の多様な港湾機能を高めます			
<p>(H19～21) 既存岸壁の老朽化対策やふ頭間道路の整備をするほか、漁港区の拡張に向けた調査・設計に着手し、現地着工をしました。</p> <p>(H22) 引き続き、既存岸壁の老朽化対策やふ頭間道路の整備を実施するほか、漁港区の拡張に向けた整備を進めます。</p>		ハード	産業経済部 企業立地課
市民が親しめる港づくりを進めます			
<p>(H19～21) 海の自然や港の魅力にふれあい快適に利用できる親水空間として、北ふ頭緑地の整備を継続しました。</p> <p>(H21) 6月と9月の2回寄港したクルーズ客船「ふじ丸」を、市民と共に歓迎するなど、親しまれる港づくりに取り組みました。</p> <p>(H22) 寄港が予定されている帆船「日本丸」や大型客船「飛鳥」を歓迎するとともに、引き続きクルーズ船の誘致活動などを行い、親しまれる港づくりを進めます。</p>		ハード	産業経済部 企業立地課

交通・流通・医療・広域連携など様々な機能充実を図ることのできる、中央インターチェンジの建設に着手します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>(H19) 現況測量や各種調査、概略設計等を進めるとともに、関係機関との協議を重ねました。</p> <p>(H20) 中央インターチェンジ設置予定地周辺の環境調査などを進めるとともに、北海道に対し、事業主体となって建設していただけるよう、東胆振管内1市4町の首長及び議会議長で構成する苫小牧地方総合開発期成会において、経済界関係者とともに、北海道知事に要望書を提出しました。</p> <p>(H21) 事業主体について協議を行いました。</p> <p>(H22) 引き続き、北海道をはじめ関係機関との具体的な協議を進めるとともに、国に中央インターチェンジの連結許可を申請します。</p>		ハード	都市建設部 道路河川課

トップセールスによる企業誘致を積極的に進め、雇用を確保し、地元中小企業の振興を図ります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19)工業団地の優位性や、企業立地助成優遇措置などを強く前面に出し、地元経済界、関係団体と連携を図りながら、トップセールスや企業訪問活動、工業団地視察会などの誘致活動を積極的に展開しました。</p> <p>(H20)工業団地の優位性や企業立地助成優遇措置などを強くPRする誘致活動を展開し、トップセールスでは3回で16社、市単独及び苫小牧地区連絡協議会では120社を訪問しました。また、工業団地視察会を開催し、道内外から15社に参加していただきました。</p> <p>(H21)2回で22社のトップセールスを行い、市単独及び苫小牧地区企業誘致連絡協議会で合計78社を企業訪問しました。また、工業団地視察会の開催で道内外から13社に参加していただいたほか、助成金(総額223,239千円、うち雇用助成金として54人分の16,200千円)を交付しました。</p> <p>(H22)引き続き、トップセールス及び苫小牧地区企業誘致連絡協議会による企業訪問、工業団地視察の通年受入を行うほか、本州で開催される企業誘致関連フェアに出展(2回)します。</p>		ソフト	産業経済部 企業立地課

市域の東西バランスを図るとともに、市中心街への居住人口の増加策を進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p>			
<p>市域の東西バランスを図ります</p> <p>(H19)東側では、人口増加に対応するため、ウトナイ小学校を開校させるとともに、青翔中学校の新設に着手しました。西側では、施設の老朽化に対応するため、消防署錦岡出張所の移転新築に着手するなど、均衡あるまちづくりを進めました。</p> <p>(H20)地域の実態と均衡に即した公共施設の整備を進めるとともに、現状の土地利用の実態や動向を検証し、用途地域の変更を検討する地区の抽出などを行いました。</p> <p>(H21)20年度の資料を基に都市計画用途地域見直しの検討を行いました。</p> <p>(H22)都市計画用途地域の見直しを行います。</p>		ソフト	総合政策部 まちづくり 推進課

市中心街への居住人口の増加策を進めます			
<p>(H19) 中心市街地については、中心市街地活性化検討委員会等の中で、まちづくり関係者などとまちなか居住の促進に向けた検討を行いました。</p> <p>(H20) 中心市街地については、旭町道営住宅の寿町への移転、建替工事に着手しました。また、市中心部への居住需要を把握するため、「まちなか居住に関するアンケート調査」を実施し、まちなか居住を推進するための検討を進めました。</p> <p>(H21) 中心市街地については、「まちなか再生総合プロジェクト素案(CAP)」を策定し、基本方針の一つに「まちなか居住の推進」を掲げ、民間企業がまちなかに賃貸住宅を建設する際の支援策の創設の検討や日新団地建替計画に伴う市営住宅の一部をまちなかに移転する事業等を位置づけております。</p> <p>(H22) まちなか再生総合プロジェクト案(CAP)をもとに、市民や関係団体と意見交換を行いながら、実施計画として取りまとめていきます。</p>		ソフト	総合政策部 まちづくり 推進課

ビジット苦小牧観光会議の開催と体験型観光誘致を進めます

任期中の実施内容		項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度：				
ビジット苦小牧観光会議を開催します				
<p>(H20) 「ビジット苦小牧観光会議」の立ち上げへ向け、関係機関との協議を進めました。</p> <p>(H21) 本市の観光振興に関する研究・討議の場として、平成22年3月に「ビジット苦小牧観光会議」を設置・開催しました。</p> <p>(H22) 「ビジット苦小牧観光会議」による議論を重ね、関係団体との情報共有と観光産業のつながりを強化するなど、本市への誘客に向けた観光振興の推進を図ります。</p>			ソフト	産業経済部 商業観光課

体験型観光誘致を進めます			
<p>(H19) 観光案内所の充実や観光ボランティアガイドの活用により、観光客の受入体制を充実するとともに、既存施設を利用した体験型・学習型モデルコースの策定など、官民一体となって検討しました。</p> <p>(H20) 体験型・学習型モデルコースの普及を図り、体験型観光の取組を推進するとともに、関係機関と連携した海外マスコミ招聘事業を通じて、体験観光の魅力をアピールし、外国人観光客の誘致促進を図りました。</p> <p>(H21) 外国人観光客の誘致促進を図るため、本市の体験型観光施設や食の観光など、東アジアのマスコミ関係者等に対するPR活動を展開しました。</p> <p>(H22) 本市の持つ自然及び産業を生かした体験型・学習型観光の積極的な情報発信と更なる発掘に努め、国内はもとより海外観光客の誘致を推進します。</p>		ソフト	産業経済部 商業観光課

地産地消 - 今後も農水産物の使用拡大について検討していきます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>(H19~H21) 「東胆振物産展」、「東胆振地産地食フェア」、「ホッキフェスタ」、「地産地消café」などのイベントを通じて、地産地消の取組を推進するとともに、学校給食において、ホッキ貝や胆東米など、地元産品の使用拡大を図りました。</p> <p>(H22) 引き続き、イベントを通じて地産地消の取組を推進するとともに、チラシ等の配布により、地産地消の大切さを広くPRしていきます。</p>		ソフト	産業経済部 農業水産課

4 お年寄りや子供たちが安心して暮らせるまち苦小牧 育てます！

静和荘の改築、老人福祉センターの移転改築などにあわせ、複合的な施設の検討を進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
静和荘の改築にあわせ、複合的な施設の検討を進めます			
<p>(H19) 静和荘については、23年度オープンを目指し、整備計画を策定しました。</p> <p>(H20) 静和荘については、移管先法人を公募・選定し、21年4月より社会福祉法人緑陽会に移管することに決定しました。</p> <p>(H22) 静和荘改築前の現施設の運営に当たり、H21年度の収支に不足が生じた場合に10,000千円を限度として運営費を補助します。</p>		ハード	保健福祉部 介護福祉課
老人福祉センターの移転にあわせ、複合的な施設の検討を進めます			
<p>(H19) 老人福祉センターについては、旧市立総合病院南棟への移転を決定し、高齢者の健康増進や子育て支援、教育研究などの機能を備えた複合施設として、21年4月オープンに向け、取組を進めました。</p> <p>(H20) 老人福祉センターについては、旧市立総合病院南棟を複合施設として転用した「苦小牧市教育・福祉センター」に移転し、「高齢者福祉センター」として21年4月にオープンすることとなりました。</p> <p>(H21) 高齢者福祉センターが21年4月にオープンし、各種相談や健康の増進、教養の向上及び憩いの場として、各種教室・講座等の充実を図りました。</p> <p>(H22) 21年度事業を継承し、高齢者が明るく楽しく健康的に憩える場として更なる内容充実に努めます。</p>		ハード	保健福祉部 高齢者福祉センター

子育て、家事、介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
子育て、家事をサポートする福祉のステーション作りを進めます			
<p>(H19) 子育て支援機能を備えた旧市立総合病院南棟の複合施設において、サポートする取組を進めていくこととし、21年4月オープンに向け、準備を進めました。</p> <p>(H20) 「苫小牧市教育・福祉センター」に開設する市内4カ所目となる「とまこまい子育て支援センター」のオープンに向けた準備を進めました。</p> <p>(H21) とまこまい子育て支援センターにおいて、子育て相談や、プレイルーム・親子ふれあいルームの開放、子育てサークルルームの貸出などにより、子育て家庭やサークル活動への支援を実施しました。</p> <p>(H19~21) 各児童館、センターにおいて活動している運営協議会が合同で行う、異年齢や他地域の子どもたちとの交流を通して、より良い人間関係を図るための事業へ支援を行いました。</p>		ソフト	保健福祉部 子育て支援課 学童部青少年課
介護をサポートする福祉のステーション作りを進めます			
<p>(H19) 市内に設置した地域包括支援センター3カ所と支所3カ所において、高齢者に対する介護予防をはじめ、保健・医療・福祉など生活に関わるさまざまな相談に応じ、総合的なより良い支援に努めました。</p> <p>(H20) 日常生活圏域を7圏域に再編成し、各圏域に地域介護の拠点となる地域包括支援センターを設置するための基本計画を策定しました。また、各地域包括支援センターと介護保険課とのネットワークシステムを構築し、介護予防を目的とした情報交換機能を強化しました。</p> <p>(H21) 地域包括支援センターを4ヶ所増設し、7ヶ所の設置としました。また、介護福祉課と各地域包括支援センターにおけるネットワークシステムを構築しました。</p> <p>(H22) 地域包括支援センターを7ヶ所設置したことにより、身近な高齢者の総合相談・対応窓口となり、高齢者に対するより良い支援を推進します。また、地域包括支援センターネットワークシステムにより、情報交換機能を強化し、高齢者に対する相談機能の強化を図ります。</p>		ソフト	保健福祉部 介護福祉課

障害者が安心して暮らせるまちづくりを目指し障害者自立支援事業を充実させます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19) 障がい者が住み慣れた地域で生活できるよう「障害者計画」と「障害福祉計画」を策定し、地域生活支援の充実に努めました。</p> <p>(H20) 地域生活支援事業を充実するため、新たに障害者就労相談員を配置し、就労支援体制を強化しました。また、委託による専門的職員の配置や相談室などを整備し、障がい者やその家族に対して、相談や情報提供、助言、その他障がい福祉サービスなどの必要な支援を行い、地域における自立生活及び社会参加を支援しました。</p> <p>(H21) 地域生活支援事業を充実するため、専任の障害者就労相談員を配置し体制を強化して障がい者の就労を支援しました。また、委託による専門的職員の配置や相談室などを整備し、障がい者やその家族に対して、相談や情報提供、助言、その他障害福祉サービスなどの必要な支援を行ない、地域における自立生活及び社会参加を支援しました。</p> <p>(H22) 引き続き、障がい者の就労支援の強化と地域生活支援事業の充実に努めるとともに、地域における障害福祉に関するネットワークの中核となる「苫小牧市地域自立支援協議会」の活動を充実させ、相談支援事業の適切な実施、関係機関との連携体制の強化を図り、地域における自立生活及び社会参加を支援していきます。</p> <p>(H19~21) ボランティア団体と協定し、障がい者パソコン教室の開催などによるIT学習支援や、文化教室支援を行いました。</p>		ソフト	保健福祉部 社会福祉課 生涯学習部生涯学習推進課

活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化するとともに、災害時応援協定の充実を図ります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p>			
<p>活火山を有する道内自治体との連携を火山サミットを通じて強化します</p>			
<p>(H20) 21年1月に開催された「十勝岳火山防災フォーラム」に参加し、関係自治体との連携を強化しました。</p> <p>(H22) 今後も道内の火山のある地域で継続的に開催される会議に参加し、関係自治体との連携を強化します。</p>		ソフト	市民生活部 危機管理室

災害時応援協定の充実を図ります			
<p>(H19) 苫小牧造園組合と災害時における防災活動等の協力に関する協定を締結しました。</p> <p>(H20) 20年5月に「北海道コカ・コーラボトリング㈱」と災害時の飲料供給等を目的とした応援協定を締結しました。</p> <p>(H21) 21年8月に「苫小牧測量設計業協会」と、被災施設の早期復旧等を目的とした応援協定を締結しました。</p> <p>(H22) 今後も関係団体との応援協定を促進し、防災体制の充実に努めます。</p>		ソフト	市民生活部 危機管理室

新市立病院の救急体制の充実や市域の拠点病院として高度医療に取り組みます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19) 救急担当看護師を専任配置するとともに、救命士等とのホットライン通信状況を改善し、ドクターヘリの受け入れを促進したほか、時間外受付場所の整備を行い、新市立病院の救急体制の充実を図りました。また、「地域医療連携ネットワーク」の構築に着手するとともに、PET/CTによるがん検診に加えて、放射線治療装置を新たに導入するなど、高度医療の充実を図りました。</p> <p>(H20) 夜間・休日急病センターとの機能分担を進めるとともに、二次医療提供が必要な救急患者に対して、速やかな治療が可能となるよう、関係スタッフの確保と体制強化を行い、救急体制の充実を図りました。また、放射線治療装置による治療を開始するなど、高度医療の充実に取り組みました。</p> <p>(H21) 高度医療の充実や救急医療の維持のため、必要な医療スタッフの確保に努めるとともに、大動脈バルーンポンプや経皮血液ガスモニターなどの医療器機を整備しました。周産期医療においては4月から助産師外来を開始し、医療器機では保育器を増備しました。</p> <p>(H22) 東胆振・日高圏域の中核病院として、高度医療や救急医療の提供に必要な医療器機を整備するとともに、災害時の初期救急医療体制の充実に努めてまいります。また、医師をはじめとする医療スタッフの確保や臨床放射線技師増員による救急体制の充実、言語聴覚士の配置によるリハビリテーションの強化に努めます。</p>		ハード ・ ソフト	市立病院

防犯、交通安全、弱者支援などのために地域の自主防災組織づくりを進め、地域の力の増強を図ります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
防犯のため、地域の力の増強を図ります			
<p>(H19~21) 防犯パトロール用具の貸出や、防犯だよりやホームページを活用して防犯情報を提供するなど、自主防犯パトロール隊の活動を支援しました。</p> <p>(H22) 引き続き自主防犯パトロール隊の活動を支援し、地域の安全・安心に取り組みます。</p>		ソフト	市民生活部 安全安心生活課
交通安全のため、地域の力の増強を図ります			
<p>(H19~21) 幼稚園・保育園・小学校のほか、高校や老人クラブ、町内会などで交通安全教室を開催し、交通ルール・マナーなど、市民意識の向上に努めました。</p> <p>(H22) 今後も関係機関と連携し、交通安全教室の開催を通して、交通ルール・マナーなど、市民の意識向上に努めます。</p>		ソフト	市民生活部 安全安心生活課
弱者支援のため、地域の自主防災組織づくりを進めます			
<p>(H19~21) 自主防災組織リーダーの育成を目的とした市民防災講座や防災研修会を開催するとともに、災害時要援護者名簿作成の継続など災害時要援護者支援に努めました。</p> <p>(H20) 自主防災組織の活動に対する新たな助成金制度を創設しました。</p> <p>(H22) 今後も助成金制度の継続や、市民防災講座の開催など、組織の充実を図り、災害時要援護者支援に努めます。</p>		ソフト	市民生活部 危機管理室

5 心の通い合う、やさしい音楽の流れる温かなまち苫小牧 愛します！

「氷上の甲子園」（全国高校アイスホッケー大会）を充実発展させるとともに、苫小牧へのアイスホッケー留学について検討してまいります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
進捗度： 			
「氷上の甲子園」を充実発展させます			
<p>(H19) 第2回大会の開催にあたり、クラブチームや選抜チームでの出場を可能とするなど、出場枠の拡大を図るとともに、「氷上スポーツ育成事業」を展開し、競技者の育成と底辺の拡大に努めました。</p> <p>(H20) 第3回大会の開催にあたり、選抜チームの参加を可能にして、参加地域の拡大を図りました。また、敗者戦を実施し、試合数を増加したほか、開会式後にスキルコンテストを開催するなど、大会の充実発展に努めました。</p> <p>(H21) 第4回大会の開催にあたり、参加地域の拡大で、九州・沖縄選抜の初参加がありました。</p> <p>(H22) 第5回大会の開催についても、一層の参加地域の拡大と観客動員を図っていきます。</p>		ソフト	スポーツ生涯学習部 スポーツ課
苫小牧へのアイスホッケー留学について検討します			
<p>(H20) ナショナルトレーニングセンター事業の活用などを検討しました。</p> <p>(H21) トレセン事業を通じて年代別のアイスホッケースクールを開催しました。</p> <p>(H22) 今後も、トレセン事業を通じて年代別のアイスホッケースクールを継続します。</p>		ソフト	スポーツ生涯学習部 スポーツ課

アルテンなどを会場に青少年の音楽祭やミュージックキャンプを開催します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>(H19)市内の小中学生を対象に、管楽器の演奏レベルの向上と交流を深めながら、音楽への関心と感性を育むことを目的とした「青少年ミュージックキャンプチャレンジ2007」を実施しました。</p> <p>(H20)市内の小中学生を対象として、新たに宿泊を取り入れ、プロの演奏家の指導のもとで演奏レベルの向上を図り、参加者同士の交流を深めることを目的とした青少年ミュージックキャンプを開催しました。</p> <p>(H21)吹奏楽で、市内の小中学生を対象とし、宿泊を取り入れ演奏レベルの向上を図るとともに合同演奏の発表会も開催し、参加者同士の交流も深めることができました。</p> <p>(H22)合唱と吹奏楽の2ジャンルを開催します。合唱では、市内の小中学校から、応募で集まった生徒に、合唱の魅力を指導者から指導していただきます。吹奏楽では、尚一層のレベル・アップを目指すことに心がけ、市内の中学校吹奏楽部から、少人数による開催を企画します。各ジャンルでの発表会と、交流も考えます。</p>		ソフト	ｽｰｯ生涯学習部文化振興課

図書館・博物館運動を起こすとともに体育文化施設の改修計画を策定し、段階的にリニューアルを図ります

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度： </p> <p>図書館・博物館運動を起こします</p> <p>(H19)多くの市民参画により、活動を企画・展開し、開かれた図書館・博物館運営を推進することとして、ボランティアによる読み聞かせや市民団体との連携行事、自然観察会などを実施しました。</p> <p>(H20)図書館ボランティアや市民団体などと協働し、読み聞かせや様々な展示事業を実施するとともに、博物館と協力関係にある博物館友の会や苫小牧郷土文化研究会などの市民団体と各種事業に取り組むなど、市民参加による図書館・博物館事業を積極的に実施しました。</p> <p>(H21)図書館運動については、昨年に引き続き市民との協働で読み聞かせや講演会など様々な催しを実施し、新たな試みとしてNPO法人主催の「古本市」を支援しました。博物館運動については、市民参画のもと博物館事業を積極的に企画するとともに、博物館と協力関係にある市民団体と協働しながら各種事業に取り組みました。</p> <p>(H22)図書館運動については引き続き、市民文化公園芸術祭をはじめ、「2010国民読書年」記念講演会、文化セミナーの開催、図書館ボランティアや市民団体と協働して読み聞かせや本の修理講習会、各種展示等を積極的に進めます。博物館運動についても引き続き、市民の参画を得て博物館の事業を積極的に展開し、市民団体、研究施設と連携協力しながら各種事業に取り組めます。</p>		ソフト	ｽｰｯ生涯学習部中央図書館 ｽｰｯ生涯学習部博物館

体育文化施設の改修計画を策定し、段階的リニューアルを図ります			
<p>(H19) 総合体育館空調機や白鳥アリーナザンボニーの改修、川沿体育館トレーニング機器整備などを実施しました。</p> <p>(H20) 総合体育館や川沿公園体育館のトレーニング機器の整備、白鳥アリーナのザンボニー修理、ハイランドスポーツセンターのブラインポンプ修理など、各施設の計画的な整備に努めました。</p> <p>(H21) ハイランドスポーツセンターのボイラー改修、ときわスケートセンターの冷凍機改修、白鳥アリーナの暖房設備改修、総合体育館の手すり設置工事を実施しました。</p> <p>(H22) 川沿体育館のアスベスト調査を行うとともに、引き続き実施計画に基づき、計画的に各施設のリニューアルを図ります。</p>		ハード	スポーツ生涯学習部スポーツ課

特別支援教育を推進するための体制整備を図り、その内容を検討し、実施します

任期中の実施内容			
項目評価	ハード・ソフト	担当部課	
<p>進捗度：</p> <p>(H19) 特別支援教育担当指導主事を1名配置したほか、教育相談員を2名増員し、教職員の特別支援教育の研修を充実しました。また、新たに大成小学校など4校に特別支援学級を設置しました。</p> <p>(H20) 新たに錦岡小学校など4校に特別支援学級を設置するとともに、特別支援教育支援員4名を、適切な指導が必要な学校に配置しました。また、特別支援学級設置校を中心にエリアを構成し、エリア内の小中学校、幼稚園、保育園が相互に連携することにより、特別支援教育の充実を図りました。</p> <p>(H21) 新たに北光小学校など4校に特別支援学級を設置するとともに、特別支援教育支援員を4名増員して8名とし、適切な指導が必要な学校に配置しました。また、新たに情緒障がいの児童生徒を対象とした通級指導教室を光洋中学校など中学校3校、拓勇小学校に設置し、障がいの状況に応じた指導を実施しました。</p> <p>(H22) 新たに拓勇小学校に特別支援学級を設置するとともに、8名の特別支援教育支援員を適切な指導が必要な学校に配置します。また、情緒障がいの生徒を対象とした通級指導教室を中学校3校に引き続き設置し、障がいの状況に応じた指導を実施します。</p>		ソフト	学校教育部指導室

公平、平等な社会の実現のための施策を推進します

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19)4月から施行した「苫小牧市男女平等参画推進条例」に基づき、新たな基本計画策定に向けて検討を進めました。</p> <p>(H20)男女平等参画推進条例に基づき、「とまこまい男女共同参画プラン21」を見直した「苫小牧市男女平等参画基本計画（第2次）」を新たに策定しました。</p> <p>(H21)男女がともに家庭・学校・職場・地域社会などあらゆる分野で平等に参画することができる社会の実現を目指し、男女平等参画基本計画（第2次）に基づき関連する施策に取り組みました。</p> <p>(H22)引き続き、男女平等参画基本計画（第2次）に基づき、男女平等参画に関連する施策を推進します。</p>		ソフト	市民生活部 男女平等参画課

市民同士の国際交流を進め、国際都市苫小牧を育てます

任期中の実施内容	項目評価	ハード・ソフト	担当部課
<p>進捗度：</p> <p>(H19~21)足元からの国際交流として、留学生への市営バス無料乗車証の交付や、在苫外国人との交流事業「ぐる〜りWORLD交流会」を開催しました。</p> <p>(H19)姉妹・友好都市交流として、ネーピア市に中学生13名と高校生2名を派遣したほか、秦皇島市には友好10周年の記念事業に向け、事前調査団を派遣しました。</p> <p>(H20)秦皇島市友好10周年市民交流事業として、市民104人が秦皇島市を訪問し、音楽、卓球、囲碁などによる交流を深めました。また、国際都市づくりを進める場として、庁舎内に国際交流サロンを開設しました。</p> <p>(H21)ネーピア市との5年毎の相互訪問交流の一環として、4月にネーピア市長ほか10人の市訪問団が来苫しました。また、秦皇島市との友好をサポートする人材を育成するため、友好都市サポーター育成事業を実施しました。国際交流サロンにおいては、各種講座などを実施しました。</p> <p>(H22)ネーピア市との姉妹都市締結30周年を記念し、11月に市民訪問団を派遣します。また、秦皇島市との友好をサポートする人材を育成するため、友好都市サポーター育成事業を昨年度に引き続き実施するとともに、こども国際交流事業で中学生15人を秦皇島市へ派遣します。</p>		ソフト	総合政策部 市民自治推進課